年間授業計画　新様式例

高等学校 令和6年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　B　組

教科担当者：（A・B組：　　）

使用教科書：（ 音楽１ Tutti+　教育出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】芸術に関する各科目の特質について理解し、表現するための技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】芸術とその表現について深く味わったり、創造的な表現をしようとすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心を培い、豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽の構造や、その文化的・歴史的背景などとの関わりを理解する。 ・音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができるようにする。 ・音楽の良さや特徴を評価しながら、自ら味わって聴くことができるようにする。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ・音楽の感性を高め、その文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	無伴奏混声四部合唱の響きを味わおう。 【知識及び技能】言葉の特特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素を知覚し、それら感受しながら、歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・アカペラ合唱の響きの特徴を捉え全体の響きを意識して合唱する。 ・読譜に必要な知識を身に付ける。 ・パ ・楽典学習プリント ・実技テスト	○				【知識及び技能】 言葉の特性と合唱にふさわしい発声とのかかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に合唱練習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	楽曲の特徴を捉え良さや美しさを感じ 取ろう。 【知識及び技能】音楽の特徴と文化 的・歴史的背景、他の芸術との関わり について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】自分や 社会にとっての音楽の意味や価値	・様々な演奏形態の音楽を鑑賞する。 ・「オーケストラ曲」「独奏曲」「歌曲」 ・鑑賞カードに記入する。				○	【知識及び技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、自ら深く味わって聴いている。	○	○	○	10
後期	ギター演奏に親しもう 【知識及び技能】 楽器の音色や奏法との関わりについて知り、ギターの特徴を生かして演奏する。音楽を形作っている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽のおける働きと関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・クラシックギター、popsギター音 楽を鑑賞する。 ・「明日があるさコード弾き歌い」「第三の男のテーマトリオ合奏」 ・個人実技テスト・発表会形式テスト	○	○		○	【知識及び技能】 楽器の音色や奏法との関わりについて知り、ギターの特徴を生かして演奏する。音楽を形作っている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽のおける働きと関わらせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ギターアンサンブルの形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】 他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	○	○	○	10
	世界の芸術歌曲に親しもう 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に 応じた発声とのかかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・イタリア歌曲・ドイツ歌曲・シャンソン・日本歌曲を独唱や少人数アンサンブルをする。 ・個人実技テスト				○	【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、近くしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に取り組んでいる。				12 合計 42